【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成26年4月10日(2014.4.10)

【公開番号】特開2013-156422(P2013-156422A)
【公開日】平成25年8月15日(2013.8.15)
【年通号数】公開・登録公報2013-043
【出願番号】特願2012-16621(P2012-16621)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　15/16　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　21/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　15/16
Ｇ０３Ｇ　21/00　３１８
Ｇ０３Ｇ　21/00　３２６

【手続補正書】
【提出日】平成26年2月20日(2014.2.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（ａ）所定の方向に走行させられるベルト部材と、
（ｂ）該ベルト部材と一体的に移動自在に配設され、前記ベルト部材上の付着物を除去するクリーニング部と、
（ｃ）該クリーニング部を、前記ベルト部材を張架する方向に付勢する付勢部材とを有することを特徴とするベルト駆動装置。
【請求項２】
（ａ）前記クリーニング部は、ベルト部材と当接させて配設された当接部材を備え、
（ｂ）前記付勢部材は前記当接部材をベルト部材側に向けて付勢する請求項１に記載のベルト駆動装置。
【請求項３】
（ａ）像担持体上に形成された現像剤像を前記ベルト部材に転写する一次転写部材と、
（ｂ）前記ベルト部材上に形成された現像剤像を媒体に転写する二次転写部材とを有する請求項１又は２に記載のベルト駆動装置。
【請求項４】
前記クリーニング部は、ベルト部材上の付着物を掻き取るブレード部材、及び該ブレード部材によって掻き取られた付着物を搬送する付着物搬送部材を備える請求項１～３のいずれか１項に記載のベルト駆動装置。
【請求項５】
前記付着物搬送部材は、螺旋状に形成され、回転に伴って前記付着物を搬送するオーガである請求項４に記載のベルト駆動装置。
【請求項６】
前記クリーニング部のフレーム部材は、前記オーガの回転軸を揺動中心にして揺動自在に配設される請求項５に記載のベルト駆動装置。
【請求項７】
請求項１～６のいずれか１項に記載のベルト駆動装置を備えた画像形成装置。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
そのために、本発明のベルト駆動装置においては、所定の方向に走行させられるベルト部材と、該ベルト部材と一体的に移動自在に配設され、前記ベルト部材上の付着物を除去するクリーニング部と、該クリーニング部を、前記ベルト部材を張架する方向に付勢する付勢部材とを有する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本発明によれば、ベルト駆動装置においては、所定の方向に走行させられるベルト部材と、該ベルト部材と一体的に移動自在に配設され、前記ベルト部材上の付着物を除去するクリーニング部と、該クリーニング部を、前記ベルト部材を張架する方向に付勢する付勢部材とを有する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
この場合、クリーニング部が、ベルト部材と一体的に移動自在に配設され、付勢部材によって、ベルト部材を張架する方向に付勢されるので、転写部においてベルト部材に加わる負荷が変化したり、転写部材の回転速度が変動したりしても、ベルト部材の走行方向におけるクリーニング部より下流側で、張力が変化するのを抑制することができる。